

日本大学松戸歯学部

## 研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称： CT 断層写真による上顎大臼歯と歯槽骨の形態学的関係 (承認番号 EC17-027)

研究機関・講座： 日本大学松戸歯学部・歯科矯正学講座

研究責任者： 専任講師・ 齋藤 勝彦

研究期間：平成30年 2月 ～ 平成35年 2月

### 1. 研究対象者

2013年1月～2017年12月までの間に本付属病院歯科矯正科にて不正咬合と診断された20歳以上の成人の方

### 2. 研究目的・意義

目的：本研究では、CT断層写真、頭部X線規格写真および歯列模型の計測値を比較検討することで、歯槽骨形態の評価法を確立し、成人矯正治療における上顎側方拡大量の基準を明らかにすることを目的です。

意義：成人矯正治療において、上顎歯列側方拡大を含めた治療を行うことがあります。そのため、術前にCT断層写真を撮影し、歯槽骨形態を確認し側方拡大量を設定する必要がありますが、CT断層写真撮影が困難な場合、歯槽骨形態を考慮した側方拡大ができないのが現状です。断層写真撮影が困難な患者に対して安全な治療を行うために、本研究は歯槽骨形態の新しい評価方法の確立に繋がります。

### 3. 方法

治療の一環で得られた患者の頭部X線規格写真(レントゲン写真)およびCT断層写真による上顎骨形態の計測、歯列模型による歯列形態の計測を行います。これにより、成人矯正治療における上顎骨を側方拡大できる量の基準を明らかにします。

### 4. 研究に利用する試料・情報等

試料：歯列模型

情報：診療録情報(年齢・性別・診断名・CT断層写真、レントゲン写真)

### 5. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・歯科矯正学講座・専任講師 齋藤 勝彦

電話番号：047-360-9412

-----以上